

「雑草魂」第 40 号

2020.12.11(金) 編集責任者：橋山 直記

第 8 回人権学習 ～統一応募用紙～

11月27日(金)の第8回人権学習で、昔使用されていた社用紙と現在使用されている統一応募用紙の違いと昔使用されていた社用紙の差別性について学習しました。親の収入や学歴、宗教や本籍地などで採用されるかどうか判断されるのはおかしいという意見がたくさん出ました。今回学習した人を公平に判断することの大切さと、就職差別をなくそうと運動してこられた人々の素晴らしさを忘れないようにしましょう。

私は今日の人権学習を通して、私が気づかないだけで差別はたくさんあっていると感じました。最初は、おかしいところが全然わかりませんでした。でも、よく見てみると、自分の生まれた場所や宗教などを書くところがあり、これは就職に関係がないのではないかと思います。

私は今まで人種差別や男女差別などしか知らなくて、今は差別がほとんどなくなっていると思っていました。でも今日の授業で、私たちの身近なところにも「就職差別」という差別があることがわかりました。また、その差別があることでつきたい職業につけない人もいたということもわかりました。これから差別についてもっと深く考えなければいけないと改めて感じました。

私はこの人権学習で、昔は「社用紙」というおかしな紙を書かなければならなかったことに驚きました。就職するのに、友人の住所や信仰している宗教を書かないといけないからです。今は必要最低限の、人の人権を守る履歴書に変わってよかったと思います。また、先生がおっしゃった、住んでいる地区、地域で就職ができなかったという話を聞いて、就職ができなかった人がかわいそうだと思うし、ひどいはなしだとも思いました。当たり前に行われていた質問が、大きく人権を侵害していることがわかりました。今は、そういう問題に対して人々が運動を起こして変えようとしていることもわかりました。なのでこれからは、人権を侵害していることがあれば、「それはおかしい」と言い、また自分も他人の人権を侵害しないように気をつけていこうと思います。正しく学べました。

私は、差別をなくしていくためには、過去どのようなことがあったのかをしっかりと向き合うことが大事だと思いました。ただ今を生きるのではなく、過去を振り返りこれからは繋げていきたいなと思います。

人を住んでいた場所で差別するのは本当におかしいことだと思いました。「社用紙」の例を見ても、実際、就職する上で必要ないことがたくさんありました。これからアルバイトや就職するうえで、必ず履歴書は書かないといけないから、自分でおかしいと思ったことは、後で後悔しないためにも、行動することが大事だと思います。少しでも多くの人が、差別をうけないようにするためには、誰かに任せるとはなく、自分から動いていきたいです。

私は、昔の社用紙を見たときは、人権の問題があることに気づきませんでした。しかし、みんなで考えたらとても多くの問題があることがわかりました。最後に、今の履歴書を見たときは、昔に比べても質問が減っていて驚きました。だから、昔の差別はとてもひどいものだったことがわかりました。しかし、今でも昔よりは減ったけど、今も差別があることがわかりました。私が最初に紙を見て差別に気づかなかったように、今でも日頃から気づかなかただけで差別に関することがあったかもしれないと思いました。だからこれからは周りをよく見て考えて差別ではないかを考えて生活していきたいと思います。